

N I C E S O N E
第22号 ないす曾根

発行/平成29年8月26日
 編集/曾根まちづくり研究会
 広報部/山下優・大久保萬里子・菊田昌昭
 山寺宏昌・天羽麻夫・千葉利胤

会長挨拶
 曾根まちづくり研究会
 会長 山下 優

日頃は曾根まちづくり研究会の活動にご協力とご理解をいただき誠にありがとうございます。さて、本会は曾根駅の高架事業を契機に歩み始めて二十五年になりました。その事業が完成してから十一年、サマーフェスティバルも二十四回を迎えることとなりました。これまで会を健全に運営できたのも地域の皆様のおかげと感謝の情を改めて実感する次第であります。

スタイルッシュになった豊中市立文化芸術センターが本格的に稼働をいたしたのもう行かれましたでしょうか？私は木の良い匂いと開放的な空間がとても好きです。思いが、曾根駅から文化芸術センターまでは駅東側の「夢の樹ひろば」の噴水を起点としたイルミネーションが皆様にご案内するようになっています。このイルミネーションは本会発定からの事業テーマの一つ「光のラン」構想が地元商店有志の多大なご協力を得て実現したもので、そして電気を含まない管理は全て本会です。そして電気を含まない管理は全て本会です。そして電気を含まない管理は全て本会です。そして電気を含まない管理は全て本会です。そして電気を含まない管理は全て本会です。



■平成28年度活動報告

- 8月27日/ないす曾根21号発行
- 8月27日/曾根サマーフェスティバル2016開催

■平成29年度活動計画【5月9日 総会、活動指針の策定】

- ①「夢の樹ひろば」の活用②サマーフェスティバルの充実③光のライン構想の推進④曾根の歴史の探求⑤ないす曾根の発行⑥地域イベントの継続

平成29年5月9日(火曜日)、豊中市立中央公民館において今年度定期総会が開催されました。まず初めに、山下会長の挨拶と新入会員の紹介及び自己紹介が行われました。その後出席者と委任状の提出数により、会則に基づく定数数が満たされていることが確認され、総会が始まりました。平成28年度活動報告、平成28年度会計報告、会計監査報告が行われ、承認されました。引き続き役員の変更と、平成29年度活動計画案、平成29年度予算案が提案され、承認されました。滞りなく会は進行し、全てのプログラムを終了しました。

まちづくり研究会のバスツアー

当会は平成五年からこれまで会員の親睦と地域との交流のため日帰りバス旅行を企画してまいりました。今回はこれまでの、旅行を振り返ってみたいと思います。

- 平成五年 神戸ハーバーランド視察
- 平成六年 長浜のまち黒壁バスツアー
- 平成十三年 水澤寺花しょうぶ園と丹波路探訪(六号)
- 平成十四年 あいどうマーガレットステーションと近江橋水郷巡り(七号)
- 平成十五年 天橋立遊覧と新緑の美山町の里めぐり(八号)
- 平成十六年 植物園 信楽焼窯元見学と三重上野散策(九号)
- 平成十七年 ハーフ園、ルネサンスリゾート、鳴門ヒサテライトクルーズ(十号)
- 平成十八年 倉敷で味わうフランス料理と蕎麦フェスティバル(十一号)
- 平成二十年 長島ヒール園、なばなの里花巡り(十二号)
- 平成二十二年 伊賀の里モクモク手づくりファーム 伊賀焼伝産業会館(十四号)
- 平成二十三年 智頭町石谷家住宅と鳥取砂丘砂の美術館(十五号)
- 平成二十三年 キリンビール 神戸ワイナリー、グリコひびくあしひこ須磨公園(十六号)
- 平成二十五年 ひまわりの丘公園、平清盛歴史館、ドラマ館(十八号)
- 平成二十六年 淡路島伊弉諾神社宮、淡路人形座とあわじ花さじき(十九号)
- 平成二十七年 真つ白な姫路城と酒蔵見学、ヤマサ蒲鉾(二十号)
- 平成二十八年 伊賀の里、忍野屋敷とモクモクファーム、ウグイス手づくり(二十号)

二十四年間に十六回のバスツアーに行くことができ、本当に楽しく過ごせたことができた。平成二十三年からは、花をテーマにしたツアーを組んで、途中からは食べることや、買い物、観光、お勉強と盛りだくさんになり、心もお腹いっぱいになったのではないだろうか？

これからも、まちづくり研究会では、色々な催しを提案してゆきますので、心掛けて参加ください。



()内はないす曾根の掲載号数です。

曾根 日時 2017年8月26日[土] 17:00~22:00
楽しいよ!
サマーフェスティバル2017
 Sone SUMMER FESTIVAL

地域にお住まいの皆さん、事業者・各団体が一体となって手づくりのお祭りとしてつくり上げた、曾根サマーフェスティバル。おかげさまで今年24回目を迎えることになりました。これからも皆さんとともに地域に定着した楽しいお祭りとなるよう育んでゆきたいと思っております。

主催/曾根サマーフェスティバル2017実行委員会
 実行委員長 安家 比呂志

※雨天決行、荒天中止



■特設ステージ(夢の樹とおり) 司会/青芝フック氏

- PM 5:00~
- オープニングセレモニー
 - 豊中市立第一中学校スクールバンド部
 - 開会宣言・実行委員長挨拶

- PM 5:45~
- 長興寺子供太鼓連(第一番)
 - 南桜塚小フランドス(みなさく子供教室)
 - コスベル(ハッピーデー)
 - ママさんストリートダンス(ヒップママドゥ)
 - キッズアーダンス(スマイリース)
 - 子どものヒップホップダンス(ファンキートリップ)

- PM 6:50~
- ビンゴゲーム(無料) ※但し空しくあり
 - ビンゴカードはお一人様一枚限り
 - ビンゴカードはPM5:30より
- 池田泉州銀行にて配布します。

- PM 7:45~
 PM 9:30
- 民謡(山俣里会)・盆踊り(大賀流社中、他)
 - ゲスト/キングレコード歌手 南山正義さん、歌手 西田和希代さん
 [オリジナルソング「曾根夢の樹音頭」他]
 - 皆さんで輪になって踊りましょう!

■サブステージ(夢の樹ひろば 噴水前)

- PM 6:00~
- ジャグリング(豊中四中大道芸術部) ●体操(とびよ体操)
 - ダンス(HAPPY SMILE PROJECT) ●舞踊(琉球舞踊會中)
 - ダンス(JETストリートダンススクール) ●ボーカルピアノ(ゆり&ありす)
 - バンド(ヘアンナケンゴターボー&ムニエルS/TSUNA)

※当日都合により来賓挨拶等を含み入れることがあります。
 ※ステージの進行上時間通り行えない場合がございますのであらかじめご了承ください。
 ※車両通行止はPM5:00~PM10:00迄

曾根サマーフェスティバル



つくる・まじわる・ひろげる 文化芸術センター・グランドオープン



●文化芸術を通じて人々が出会う場所―豊中市立文化芸術センター

実は北摂最大とも言えるこれらのステージで、式典講演会、著名なアーティスト、落語家、ミュージカル、ダンスやオーケストラをはじめ市民が心待ちにしていたさまざまな「出会い」が成就した。市民団体、個人にもモチロ活躍発表の場は提供される。

その他、地下階には練習室、スタジオ、楽屋が、階には展示室、多目的室が、そして、階には山の小径を思わせる回廊に面したミーティングルームに、静寂と前衛的な雰囲気が出会う和室やラウンジが配されさまざまなシーンに利用できる。さらに三階屋上はガラスになっていて、遠望も堪能できる。さらに三階屋上はガラスになっていて、遠望も堪能できる。さらに三階屋上はガラスになっていて、遠望も堪能できる。

また、ゼロ歳からのコンサートや来年三月（四日）に開催する、こどもクッキングの日のようなユニークな取組に加え、大阪音楽大学と、ミュージックコミュニケーション専攻学生によるプロデュース公演などで連携を図り、大阪大学は大ホール観戦のデザインに携わり、活動は幅広いパレエ教室や合唱団、市民クラブの数が多く、豊中の市民を中心に発表会を開いていた。自身の立った舞台上「大物」が来るといったような感慨を味わっていた。大物に話すと表情には自然な笑顔がのぞく。万、フロアの床材に細目調をつけて滑り止めとしたり、階段の段差をすりすりへの注意喚起などといった安全への配慮も忘らな。

そこは、社であった。曾根駅前の信号を渡り、噴水と時計台のある、夢の樹ひろばを起点として、「光のライン」に誘われるままに歩を進めると、五分をからずしてその社に出会える。力あるものは、話すとも十全にその威容を誇っていることが少なくないが、この社も例外ではない。輝きを内に秘めながらも、静かに、そして優しくそこに居る。今年（月）にランドオープンした豊中市立文化芸術センター（以下、センター）である。

お二人は異口同音に、文化芸術に触れてほしい、またそのうする中で人が出会い、更に新しい文化芸術の創出につながってほしいと抱負を込められ、新しい文化芸術の創出について話を続けられた。市民オーケストラ、ホールなどが体化した「オール豊中」、市民の協力を得てつくり上げる「メイドイン豊中」、豊中にしかない、豊中でしか出会うことのできなない「プレミアムプログラム」が、それ、日本センター交響楽団の演奏でプロの音楽家と市民合唱団のコラボで十二月に「豊中市民第九」を行うといった企画が挙げられる。



●客席数1344席、2層構造からは想像できないほどの高い音響性能と舞台と客席の一体感を誇る大ホール

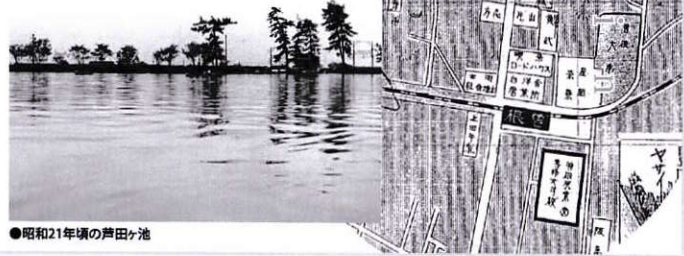
魯山 S A N



●星岡茶寮の玄関

な土地（約3,000坪）を有する素晴らしい意匠が凝らされています。その施主は、造園や、建築に非常に造詣が深く費用も惜しみなく使い、現在のダイエーのある所に「茶寮

曾根の歴史を調べるということから、星岡茶寮とその運営のアイデアまであった北大路魯山人について、まちづくり研究会では調査研究してまいりました。今では、町が発売され、芦田ヶ池も埋め立てられ、文化芸術センター、アークア文化ホール、中央公民館となりました。その池に臨む、阪急電車沿いに延々と趣のある土堀がめぐられ、広大な土地（約3,000坪）を有する素晴らしい意匠が凝らされています。



●昭和21年頃の芦田ヶ池

編集後記

22号では21号に続き、1月にグランドオープンした文化芸術センターを訪れ取材しました。曾根の、そして、豊中市の文化芸術の「社」にふさわしい勇姿です。これからはまちづくり研究会では文化芸術スポーツのまちの発展に力を尽くして行きたいと考えています。また、発足よりの、夢の樹ひろばと夢の樹とおりを結ぶ光のライン構想も継続したいと考えております。今後とも、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。（編集部）